

令和7年 第8回

四日市市教育委員会会議案

関係資料

日時 令和7年 7月 9日 午前9時00分～

場所 四日市市役所 9階 教育委員会室

令和7年 第8回 教育委員会会議 議事

○議 案

議案第34号 専決処分の報告及び承認について  
(四日市市英語指導員任用規則の一部改正について) …… P 3/152

○報 告

小中学校給食費について…………… P 6/152

令和7年6月定例会議の報告について …… P 7/152

委任事務の報告(令和6年度中に教育委員会が行った行政処分について) P17/152

○協 議

令和6年度の教育委員会における点検及び評価について …… P19/152

四日市市教育大綱の改訂について…………… 別冊

議案第34号

専決処分の報告及び承認について

(四日市市英語指導員任用規則の一部改正について)

四日市市教育委員会事務委任規則(昭和39年四日市市教委規則第11号)第3条第1項の規定に基づき、四日市市英語指導員任用規則の一部改正について、次のとおり、教育長が専決により処分したので、同条第2項により報告し、承認を求めらる。

令和7年7月9日提出

四日市市教育長 廣瀬琢也

専決処分の内容

別紙のとおり

四日市市英語指導員任用規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 7 年 6 月 1 日

四日市市教育長 廣 瀬 琢 也

四日市市英語指導員任用規則の一部を改正する規則

四日市市英語指導員任用規則（令和 2 年四日市市教委規則第 3 号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
(免職、休職等) 第 2 9 条 (略) 2 (略) 3 (略) (1) <u>拘禁刑</u> 以上の刑に処せられた場合 (2) (略)	(免職、休職等) 第 2 9 条 (略) 2 (略) 3 (略) (1) <u>禁錮</u> 以上の刑に処せられた場合 (2) (略)

附 則

この規則は、令和 7 年 6 月 1 日から施行する。

(教育委員会教育推進課)

<議案参考資料>

**議案第34号 四日市市英語指導員任用規則の一部改正について**

**1 改正の背景**

刑法の改正（令和7年6月1日施行）により「懲役」「禁錮」が廃止され、「拘禁刑」が創設。

**2 改正の内容**

第29条第3項(1)「禁錮」を「拘禁刑」に改正。

**3 施行期日**

令和7年6月1日

# 小中学校給食費について

## 1. 学校給食費に係る関係法令

### 学校給食法

「学校給食の実施に必要な施設及び設備に要する経費」を公費負担としている。  
それ以外の学校給食に要する経費、つまり、食材料費いわゆる学校給食費は保護者負担とすると示されている。

### 四日市市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例

学校給食費の額及び納付の方法は、規則で定めることが明記されている。

### 四日市市学校給食の実施及び学校給食費の管理に関する条例施行規則

学校給食費の額を小学校の低学年児童、小学校の高学年児童、中学校の生徒に分け、それぞれ定めている。

## 2. 学校給食費の適正価格の設定について

### (1) これまでの経緯

#### 【学校給食費の推移（月額）】

	H8年度～	H21年度～	H29年度～	R5年度～
小学校低学年	3,650円	4,100円	4,400円	
小学校高学年	3,800円	4,300円	4,600円	
中学校（R5～）				4,900円

### (2) 現在の状況

食材料費は、保護者から徴収している学校給食費に加え、令和5年度以降急激な物価上昇への緊急的な対応として、物価上昇分を公費負担している。

現行の給食費に対して、令和5年度は約8%、令和6年度は約18%、令和7年度については23%の物価上昇を見込んで上乗せしている。

#### 【小学校高学年の食材料費の推移】

R4年度	学校給食費 (4,600円)	
R5年度	学校給食費 (4,600円)	+ 公費負担 (368円)
R6年度	学校給食費 (4,600円)	+ 公費負担 (828円)
R7年度	学校給食費 (4,600円)	+ 公費負担 (1,058円)

### (3) 検討事項

- ・令和8年度からの学校給食費の適正価格を検討する。
- ・学校給食費のうち保護者負担とする割合を検討する。

学校給食費 = 食材料費

全額無償化	
保護者負担	
保護者負担	一部無償化

令和7年6月市議会  
定例月議会  
本会議審議等内容報告

四日市市教育委員会

## 令和7年6月議会(本会議)の質問質疑に対する答弁要旨

## ◎一般質問

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	<p>○すべての子どもに届くキャリア支援を(キャリア教育における専門人材と地域連携の強化について)</p> <p>①本市におけるキャリア教育に係る認識について伺いたい。</p> <p>②今後のキャリア教育における「キャリアナビゲーター」等の専門的に寄り添える人材の活用について考えを伺いたい。</p> <p>③本市のキャリア教育における地域との連携基盤づくりについての見解を伺いたい。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①四日市市ならではの地域資源を効果的に生かし、日々の学校生活全体をキャリア教育の視点で捉え、社会とのつながりを意識した教育活動を進めており、社会的・職業的自立につながる力を学校、保護者、地域と連携しながら育てている。</p> <p>②子ども一人ひとりの悩みや迷いに多角的・多面的な視点から寄り添い、キャリア形成を支えていくことは、本市としても重要な視点であると認識している。現在行われている本市でのキャリア教育がより効果的なものになるよう、他市町の先進的な事例について情報収集するとともに、子どものキャリア形成を支える有効な手段について研究していく。</p> <p>③各学校において、地域の事業所や企業との連携、コミュニティスクールの活動を通し、多様な世代、立場、職業の方々と地域密着型のキャリア教育を進めている。また、体験的に学び、職業観を育む機会等の確保に向けて、地域との連携基盤構築に努めている。学校と地域を結びつけるようなマッチングシステムは、教職員の業務負担軽減や、情報の共有において有効であると考え。子ども一人ひとりの多様なキャリア教育の機会確保に向け、本市キャリア教育のよさを生かせるような情報共有の仕組みについて今後も研究していく。</p>
	<p>○すべての子どもに届くキャリア支援を(キャリア教育と居場所支援の連携について)</p> <p>①不登校児童生徒支援の新たな事業について伺いたい。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①本市の令和6年度不登校児童生徒数の速報値は1,043人となっているが、一人一人の状況は様々である。多様な学習機会と居場所を提供するため、今年度新たに、小学校校内ふれあい教室のモデル校を設置したほか、メタバース空間を活用したオンライン支援を始めた。今年度はその効果を検証していく。今後も引き続き、不登校児童生徒が社会に自立する力を育む中で、個に応じたキャリア形成を支援できるよう努めていく。</p>

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
<p>平野 貴之 (新風創志会)</p>	<p>○プール跡活用で避難所が強くなる ①プール授業の民間委託が進めば、既存のプールは不要となるので、プール跡にソーラーパネル等を設置するなど、災害時の避難所の機能強化に活用できないか。</p>	<p>(副教育長) ①プール施設は経年劣化が著しいため、更衣室等の付属建物を含め、解体を行う方針である。 解体にあたり、プールの水は消防水利や災害時の生活用水として期待されている面もあることから、これらの確保について関係部局と協議している。 跡地の活用は、まず教育活動に有効な土地利用を検討する。 各学校において施設の配置等が異なるため、個別に検討していくなかで、他部局から活用の申し出があれば、学校活動への影響を踏まえたうえで、協議を行っていく。</p> <p>(危機管理統括部長) ①プール施設は解体の方針であり、ソーラーパネルの設置等の検討はしていない。 既に、すべての指定避難所の防災倉庫にはガス発電機があり、津波避難ビルに指定された市内18の小中学校には自家発電装置も設置している。 加えて災害協定や外部支援による発電機、電源車の活用もしていくことになっているが、引き続き、指定避難所の環境改善及び機能強化等に取り組んでいく。</p>

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
<p>谷口 周司 (新風創志会)</p>	<p>○子どもの将来に不安を残すな！！～今こそ考える「修学旅行」の意義～(修学旅行の現状、修学旅行の今後はどうなる…、修学旅行に補助金を！！)</p> <p>①修学旅行にはどのような意義があるのか。</p> <p>②修学旅行の実施状況はどのようになっているか。</p> <p>③積立金の管理体制はどのようになっているか。</p> <p>④現状の課題認識と今後の対応についてはどうか。</p> <p>⑤小規模校の修学旅行維持のために、複数校でまとめて契約してはどうか。</p> <p>⑥修学旅行費用の無償化や一部補助を検討してはどうか。</p> <p>⑦修学旅行はこれまで通り、質も落とさず、実施できると考えてよいか。</p>	<p>(教育長)</p> <p>①修学旅行を日頃の学習を深める大切な機会として捉えており、各学校が工夫を凝らしたテーマを設定して取り組んでいるところである。</p> <p>②令和6年度の行き先として、中学校では、東京方面が19校、広島・大阪方面が3校で、費用は平均約62,000円となっている。小学校では、すべての学校が京都を訪れており、学校によっては大阪や兵庫、奈良を經由している。費用は、平均約27,000円となっている。</p> <p>③積立金は修学旅行専用の通帳で管理し、通帳と印鑑は別々にカギのかかる場所に保管している。通帳を取り扱うのは該当学年の担当職員と事務職員、管理職に限り、かつ、出金の際には、複数の職員で確認し、校長が最終確認したうえでやっている。収支の確認も複数の職員で定期的に行い、コミュニティスクールの委員など外部の第三者に監査をお願いするなど、不正が起こらない体制となっている。</p> <p>④小・中学校の修学旅行については、社会情勢の影響を受け、様々な課題があると認識している。特に、バス代や宿泊費などの高騰は、顕著である。また、近年増えつつある自然災害や活動中の安全確保のためのリスクマネジメントなど、学校が考慮すべきことは増大している。これに伴い、教員の負担は増えており、必要経費も上乘せになっている。さらにコロナ禍以降、全国的にも旅行業者が修学旅行事業への参画にやや消極的な傾向であることから、学校主体で行う業者選定の際には、見積もりの段階で辞退される場合もある。</p> <p>⑤今後も子どもたちにとって充実した修学旅行を継続していけるよう、議員からご紹介いただいた複数校での契約等の手法について、校長会と連携しながら、検討を進めていく。</p> <p>⑥現在本市では、修学旅行費の負担にお困りのご家庭には、就学援助制度により、修学旅行に係る経費を全額支給している。修学旅行を無償化または一部補助することについては、今後、他市町の実態を調査・研究していく。</p> <p>⑦小・中学校の修学旅行は、最終学年で実施する学校行事として、普段の生活とは違った環境で、日頃の学習を深める大切な機会であると捉えている。質の担保と適切な費用設定に配慮しながら、子どもたちにとって学びの多い、そして、記憶に残る修学旅行として継続できるよう努めていく。</p>

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
村上 暁 (共産党)	<p>○小・中学校の学校給食無償化について</p> <p>①本市において小中学校給食無償化を求める請願が採択され、5,200筆以上の署名が集まっている。</p> <p>他自治体の無償化が進み、政府も小学校給食無償化を検討しており、四日市市の財政力なら実施可能と考えている。</p> <p>無償化は「食育」を含む教育の一環であり、子育て支援としても重要である。</p> <p>物価高が続く中、子育て世帯の負担軽減を求める声が高まっており、無償化の手続きは簡単に進められるので、学校給食無償化を早期に実現してほしいがいかか。</p>	<p>(副教育長)</p> <p>①国の動向としては、少子化対策の一環として閣議決定された「こども未来戦略方針」において、学校給食費無償化の実現に向けて調査を実施し、文部科学省はその結果をもとにした課題の整理を発表した。その中で、全員を対象にした給食無償化は、「子育て支援」等の目的で実施され、結果的に保護者世帯の所得増加をもたらす施策であり、学校給食法における給食の目的・目標の実現とは異なっていることから、児童生徒間の公平性、格差是正策としての妥当性、安定的な財源確保の必要、地域によって状況が異なる中での少子化対策として効果的な施策か否かなどの課題が挙げられている。</p> <p>また、この発表後には自民党・公明党・日本維新の会の3党により、小学校の学校給食費無償化を令和8年度から実現し、中学校においてもできる限り早期の実現を目指していく旨の合意がなされ、今年の夏に示される経済財政運営と改革の基本方針に反映させるとの報道だが、方針は示されていない状況である。</p> <p>本市においては、急激な物価高騰により、保護者負担の学校給食費だけでは、従来の質を維持した学校給食の実施が困難になり、令和5年度から緊急的な対応として、給食の食材料費の物価上昇分を公費負担している。物価上昇に合わせて増額し、令和7年度は23%にあたる2億9,700万円を予算計上している。令和6年11月定例月議会では「小中学校給食の無償化を求めることについて」の請願が提出され、令和7年4月閉会議会にて、採択された。</p> <p>本市の財政状況については、現在の財政指標だけで楽観的に判断するのではなく、将来世代に過大な負担を先送りすることのないよう、中長期的な視点から将来の財政負担の注視が重要であると考えている。加えて、国からの支援制度が不明確で、正確な財源見とおしを立てることが困難な状況であるため、無償化の時期や対象、手法などを決めていく段階ではないと考えている。</p> <p>物価高騰が続く中で、子育て世帯が安心して子どもを育てることができる環境を提供することは、市として重要な課題であると認識している。</p> <p>請願の趣旨を真摯に受け止めながら、引き続き国の動向を注視し、「子育てするなら四日市」として選ばれるまちを目指して、子育て世帯への支援として効果的な施策を、市長部局で実施する子育て支援策と合わせて、その意義や効果、実施時期、将来の負担などについて慎重に検討していきたい。</p>

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
<p>伊世 利子 (フューチャー 四日市)</p>	<p>○自分らしく生きるために尊厳は守られているのか(小児の発達段階における性教育について) ①小学校では発達段階に応じて、どのように性教育を行っているのか。</p>	<p>(教育長) ①本市小学校では、学習指導要領に基づき体育科を中心に学校教育活動全体を通して、心と体の発達、生命の尊重、性に関する科学的な知識を確実に身につけ、適切な行動をとることができるよう指導している。</p> <p>具体的には、小学校低学年の1、2年生では、主に特別活動の中で、自分の体を守ることを中心に、プライベートゾーンの理解や、性被害の防止について学ぶ。低学年の子どもたちにもわかるように、水着で隠れる部分は人に見せたり、触らせたりしてはいけないこと、嫌なときは「いや」と断ること、助けを求めることなどを丁寧に指導する。</p> <p>中学年の3、4年生では、体育科の保健領域で、体の変化や成長についての知識を学ぶ。指導の際には、体の成長の変化は、子どもにとって不安や混乱を招く可能性があることも鑑み、子どもが抱える不安や疑問を真剣に受け止め、共感的に寄り添うことが必要である。成長期の変化は、個人差があること、誰にでも起こる自然な現象であることを子どもたちに伝え、安心感を与えるようにしている。さらに、子どもたちに対して個々のプライバシーに関する情報や意見を無理に聞かないようにするとともに、指導者の経験や意見の押し付けは避けるなど、子どもたちが自分の考えや感情を尊重され、安心して自分らしくいられる環境を整えるようにしている。</p> <p>高学年の5、6年生では、体育科の保健領域で、心の健康について学ぶ。心は年齢に伴って発達することや、心と体には密接な関係があることについて学ぶことに加えて、悩みや不安への対処について指導している。</p> <p>また、本市では助産師や産婦人科医など外部講師による「生命と性に関する出前授業」を全校で実施している。実体験に基づいた専門的な見地から行う授業を通して、子どもたちは単に性に関する知識を学ぶだけでなく、自らの生命を大切に、他者を尊重するという概念に迫る学びとなっている。</p>

## 令和7年6月議会 付託議案の質問質疑に対する答弁要旨

## ◎議案第22号、23号 動産の取得について(真空冷却機)

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
山田 知美 (新風創志会)	<p>○設置に関する課題について</p> <p>①導入にあたり厨房内の設置が難しい学校があるとの課題が認識されていたと思うが解決されているのか。また必要な改修等は済んでいるのか。</p> <p>②改修は不要でレイアウト変更だけで設置可能ということか。</p> <p>③児童数の多い学校と少ない学校がありその差は大きい。すべての学校に同じ容量の機器が必要なのか調査が必要であると考え。学校規模に応じた機器を導入する必要があるのではないか。(意見)</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①設置にあたっては業者も含めて状況を確認している。設置が難しいとされていた学校も例えば食器棚を移動するなどして対応している。現段階でほぼ設置ができることになっているが、2校については業者も含めて確認中である。</p> <p>②そのように捉えている。</p>
笹岡 秀太郎 (政友クラブ)	<p>○清掃に関する課題について</p> <p>①機器の清掃が難しいとの声を聞いたが技術的なカバーはできているのか。</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①業者と連携し運営できるように進めており、現場の意見についても確認しながら進めている。修理についても部品が15年対応可とのことであるため連携して対応していく。</p>
日置 記平 (政友クラブ)	<p>○導入する製品について</p> <p>①この真空冷却機はどこのメーカーのものか。また、説明では1社しかないということであるが真空冷却機を作っている会社は日本で1社しかないのか。</p> <p>②四日市市が求める機能を満たすのは三浦工業製のものだけか。国内で何社あるのか。</p> <p>③機能を満たすものが導入されている施設は小中で何校か。またメンテナンスの問題は起きていないのか。</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①三浦工業株式会社の製品である。1社のみではなく、海外製も含めてほかにも多数ある。調達に関わる部分において10台を一括調達する場合に入札に応じられる業者が1社のみになってしまう、競争の原理が働かないということになるため議案を2つに分けて提案させていただいている。</p> <p>(保健給食係長)</p> <p>昨年度の予算要求時に10台を一度に納入できるか業者に聞き取りをしたが、年間で10台を納入するには会社として労力の面や工事日数に限りがあることから時期的にも難しいとの回答を得た。そこで5台ずつ調達することにより複数業者の応札が可能となるようにした。</p> <p>②機能について仕様を満たしているものは他社でもあり、確認できているのはもう1社海外製である。他社の詳細なスペックは把握していない。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>③小学校は昨年度10台、中学校は給食センターに導入しており、問題はないと認識している。</p>

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
上 麻里 (政友クラブ)	<p><b>○導入時期について</b></p> <p>①令和6年度はすでに導入済であるが、食中毒が懸念される季節までに導入が可能であったのか。納入期限の3月末ではなく早めに導入できたのか。</p> <p>②食中毒の心配があるため、早めに導入できるようにしていただきたい。(意見)</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①工事等の問題もあり、夏休み中に導入できた学校と他の工事と重なり2学期途中に導入した学校がある。</p>
中川 雅晶 (公明党)	<p><b>○経費について</b></p> <p>①今回の入札結果では、南部と北部において1台当たりの金額に差が出ているがどう評価するか。</p> <p>②維持コストがかかると見聞きしたが、今後、経年的にコストが必要となった場合に予算の計上はしてくのか。維持をしていく必要があることからコストをかけてやってもらいたい。</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①小学校の給食室によって配管工事等が異なり、工事も含めての入札であるためその差と捉えている。</p> <p>②衛生管理の強化が一番の目的のため今後も確保していきたい。</p>
日置 記平 (政友クラブ)	<p><b>○導入する製品について</b></p> <p>①この機能を満たすのは国内でこのメーカーしかないのか。県内自治体ではこのメーカーのものを導入しているのか。</p>	<p>(保健給食係長)</p> <p>①全社の機能を確認できてないが、入札時に機能の仕様を満たすものと指示し、結果として選ばれたものである。</p> <p>他の自治体がどんなものを導入しているか把握しておらず、違うものである可能性もある。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p><b>○未導入の学校の衛生管理について</b></p> <p>①全校導入にはR8年度、R9年度とまだ先があるが、導入がまだの残りの学校の安全衛生については適切にされているのか。</p> <p>②すべての児童と保護者が安心であると思ってもらえるよう配慮しながら進めていただきたい。(意見)</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>①これまで水冷の方法により実施しているが、これまでと同様に衛生管理を行うとともに、保冷剤の活用など工夫をしながら衛生管理を実施している。</p>

## 令和7年6月議会(教育民生常任委員会 報告)の質問質疑に対する答弁要旨

## ◎小中学校給食費について

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	<p>①国による無償化は国庫負担割合によると思われるが、四日市市の方針はある程度決まっているのか。</p> <p>②教育は給食だけでなく、子どもたちにとって投資しないといけない部分もあるため、投資のバランスが重要である。その部分を四日市市は慎重にコントロールしていると思う。給食も大事だがそれ以外も大事であり、優先順位が大切であると理解している。そのハンドリングで引き続きやっていただきたい。(意見)</p>	<p>(副教育長)</p> <p>①国の動向については先日の一般質問で答弁したとおり骨太の方針原案には示されていなかったが、翌日の13日には閣議決定され、給食費無償化について令和8年度予算で検討する旨の記載があった。どのように各自治体に配分されるのか、上限等具体的なところはまだ不透明である。決断するには情報が足りない状況であるが、国が決断後すぐに対応できるように担当者レベルで準備している。</p>
上 麻里 (政友クラブ)	<p>①近隣市町が給食費を上げているなか、四日市市は市が負担をして維持していることに感謝する。給食の内容は子どもや保護者からも良いと言う意見を聞いており、このことは大切なことである。給食費を下げるため輸入米が使われることのないようにしてもらいたい。地産地消も教育であるため、そこも含めて、給食の無償化をどのように作り上げてまとめていくか、準備をするとともに、子育て施策は幅広いものであることから無償化だけではなくその部分も含めて進めていただきたい。(意見)</p>	<p>(副教育長)</p> <p>①地産地消については、できる限り地元のものを取り入れているため、今後も変わらず取り組んでいきたい。骨太の方針で学校給食の無償化とともに、地産地消、食育の推進についても記載があることから併せて進めていく。</p>
伊世 利子 (フューチャー 四日市)	<p>①自身は給食費無償化の請願採択に反対をした。給食の廃棄が多いと聞いたため現在も進めてもらっていると思うが、食育の中に入れてもらいたい。給食費について異論はない。(意見)</p>	
田中 徹 (市民目線の会)	<p>①他自治体の給食内容について報道で話題になっているが、四日市市は充実した給食であり、努力をしてもらっている。小学校の給食費無償化の話はでているが、中学校はどうなっていくのか、市としてどうしていくか、無償化を一つの方法として子どもの成長につなげてもらいたいと思うため検討を進めてほしい。(意見)</p>	

質問議員(会派)	質問・質疑等要旨	答弁者及び答弁要旨
中川 雅晶 (公明党)	①無償化がスタートした場合、危惧されるのが、固定費として経費を捉える中で質をどう担保するかである。地産地消を軽減しようとなりがちなところを、未来の子どものため、質を担保してほしい。開始後数年はいいが、数十年経つと徐々に軽減の方向になっていく。どう回避するか検討してもらいたいと考えるが、教委としての意見はどうか。	(副教育長) ①給食の質の担保は食べるだけではなく、食育の教材であるためその質を保つことにはこだわりたい。
竹野 兼主 (フューチャー 四日市)	①資料に記載がないので確認するが中学校給食の公費負担額はどうか。	(学校教育課長) ①中学校公費負担分としては令和6年度予算ベースで8,500万円、令和7年度で1億800万円を物価上昇分として公費負担しており、令和7年度は小学校と合わせて2億9,000万円である。

令和7年7月9日(水)  
教育委員会会議 資料

委任事務の報告（令和6年度中に教育委員会が行った行政処分について）

四日市市教育委員会事務委任規則（昭和39年四日市市教委規則第11号）第4条第1項第3号の規定に基づき、報告を要する令和6年度中に教育委員会が行った行政処分のうち重要なものについて、該当がないことをご報告いたします。

○四日市市教育委員会事務委任規則（抜粋）

（委任事務の報告）

第4条 教育長は、次に掲げる委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を年1回以上委員会に報告しなければならない。

- (1) 教育委員会が所管する主要施策の成果
- (2) 教育行政に関する計画の重点目標の達成状況
- (3) 教育委員会が行った行政処分のうち重要なもの
- (4) その他重要な委任事務

2 前項の規定にかかわらず、教育長は、委員から委任事務の報告を求められたときは、速やかにその管理及び執行の状況を委員会に報告するものとする。

